

起 古川町市街地で古川祭 し太鼓で春を告げる

4月19日（水）・20日（木） 古川町市街地

春の訪れを告げる古川祭が4月19日、20日の二日間行われました。昨年のユネスコ無形文化遺産に登録され初めての祭ということもあり、二日間で52,000人が訪れ古川祭を堪能しました。

19日夜間には、さらし姿の裸男による「起し太鼓」が行われ、大太鼓や付け太鼓が町内を熱気に包みました。20日には早朝からまつり広場で9台の屋台がまつり広場や町内に曳き揃えられ、各台組によるからくりや子供歌舞伎、獅子舞などが奉納されました。



打ち出しの様子



獅子舞の様子



からくりが多くの方を魅了しました

神 神岡町市街地で神岡祭 岡町内の三社で春の訪れを祝う

4月22日（土） 神岡町市街地

飛騨三大祭の1つに数えられる飛騨神岡祭が4月22日に神岡町市街地で行われました。天候にも恵まれ、会場には、祭り行列なとを目見ようと多くの観客が訪れました。

時代絵巻を思わせるような豪華大行列が、優雅な祭り囃子とともに市街地を巡行し、地域住民や観光客らを魅了しました。祭の最後には「神遷し」が行われ、鶏闘樂や神楽などに導かれるように神様を乗せた神輿が神社の本殿に一気に駆け込み、厳粛に祭を締めくくりました。



舞姫が祭りに花を添えます



豪華な御神輿を担ぎます



行列の様子

新 広葉樹や薬草の魅力を発信 新たな地域おこし協力隊員を委嘱

4月4日（火） 市長室

市では、新たな地域おこし協力隊員として、中富康子さんに委嘱状を交付しました。これで市内の協力隊員は4人となります（4月4日現在）。

広島県出身でウェディングプランナーとして働いていた中富さんは自然や旅が好きで、趣味で植物療法や薬草などを勉強していました。中富さんは農林部林業振興課に配属され、広葉樹や薬草等を活用した地域振興に取り組みます。

中富さんは「市の広葉樹や薬草などの魅力をどんどん外に発信していきたい。そして、人と人をつなぐ架け橋になれば嬉しい」と話しました。



市長から委嘱状を受け取る中富さん

半 春の風物詩「鯉の引っ越し」 年ぶりに鯉が瀬戸川へ

4月2日（日） 古川町 瀬戸川

古川の春の風物詩「瀬戸川の鯉の引っ越し」作業が瀬戸川周辺で行われ、元気に泳ぐ鯉の姿が帰ってきました。

この引っ越し作業は、前年の11月に越冬のため増島城跡の天神池へ移した鯉を瀬戸川に戻す毎年恒例の作業で、地域のボランティアや観光協会職員ら22人が参加しました。

天神池から軽トラックで瀬戸川に運ばれた鯉は、たも網で瀬戸川へ放流されると、半年ぶりに戻った清流で気持ちよさそうに泳いでいました。

鯉は大小約1000匹が放流され、11月まで皆さんに楽しんでいただけます。



たも網で鯉を放流する参加者

市 河合会場に約80人が参加 民と市長の意見交換会

4月13日（木） 河合町公民館

市民と市長の意見交換会が河合町公民館で行われ、地域住民約80名が参加しました。

会では、まず都竹市長が市の取り組みなどについて説明した後に、質疑応答が行われました。来場者からは危機管理についてやインターネット環境について、聖地巡礼者への対応についてなど、幅広い話題について意見を交換しました。

今年度は市政報告会も兼ねて、順次市内で意見交換会を開催する予定です。



市政について説明する都竹市長

飛 地域防災の要として新たに36人が入団 驒市消防団が入退団式

4月2日（日） 文化交流センター

飛驒市消防団の入退団式が行われ、市内の団員など約350人が出席しました。

今年度の退団者は32人、入団者は36人で、団員数は基本団員と災害支援団員合わせて859人となりました。

式では入団者を代表して古川方面隊第3分団1部の草壁俊也さんが蒲義博団長から辞令を受け取り、同分団3部の種村義樹さんが「規則を遵守し、忠実に消防の任務を遂行することを誓います」と宣誓しました。

蒲団長は「誇りと強い意志を持ち、日々の訓練や活動を行って欲しい」と訓示しました。



入退団式の様子



お 光ミュージアムとのコラボレーション 江戸のおしゃれPartII 企画展がスタート

4月15日（土） 飛騨市美術館

飛騨市美術館で「お江戸のおしゃれPartII」企画展が始まりました。

この企画展は、光ミュージアム所蔵の肉筆浮世絵と飛騨に伝わるハレの日の衣装とのコラボレーションしたものです。館内には肉筆浮世絵から美人画を中心に30点を展示し、飛騨に伝わる祭の衣装や獅子頭などを展示しています。

企画展は6月18日（日）まで行われます。（月曜休館）皆さんぜひお越しください。



オープニングで挨拶する都竹市長

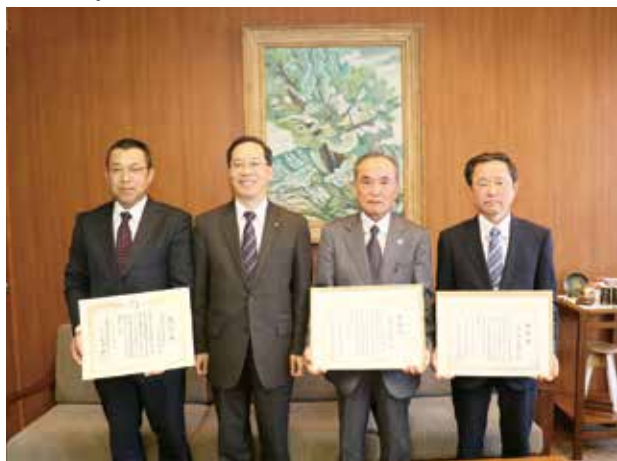
交 1団体と2人が市長に報告 交通安全に尽力

4月14日（金） 市長室

飛騨地区交通安全協会長の森下光保さんと同協会副会長の堀内文明さん、同協会古川第2支部が県交通安全功労者表彰を受け、都竹市長に受賞を報告しました。

森下さんらは、長年にわたる児童の登下校の見守りや街頭指導などで交通安全の普及啓発に尽力してきました。

表彰状を持って市長室を訪れた森下さんらは「街頭指導や啓発活動を継続して行っているが、皆さんの意識に浸透していると実感している。今後も交通安全に向けて頑張りたい」と話しました。



表彰状を手にする森下さんら

桜 ライトアップされ幻想的な夜桜が魅了 を優雅に楽しむ

4月22日（土） 古川町杉崎

御所桜・さくら祭り実行委員会は、水を張った田んぼに幻想的に浮かび上がる桜並木「御所桜」で御所桜・さくら祭りを行いました。

御所桜は、昭和27年頃に杉崎の有志が堤防に桜並木を作ろうと植栽され、現在は170本の桜が咲き誇ります。

この日は、夕方から地元有志によるバザーなどが行われ、ライトアップされた桜並木の下の特設ステージでは、地元若社の獅子舞、雅楽、琴の演奏などが行われ、多くの人が幻想的に浮かび上がる夜桜を楽しんでいました。



ライトアップされた桜並木の下での獅子舞の様子

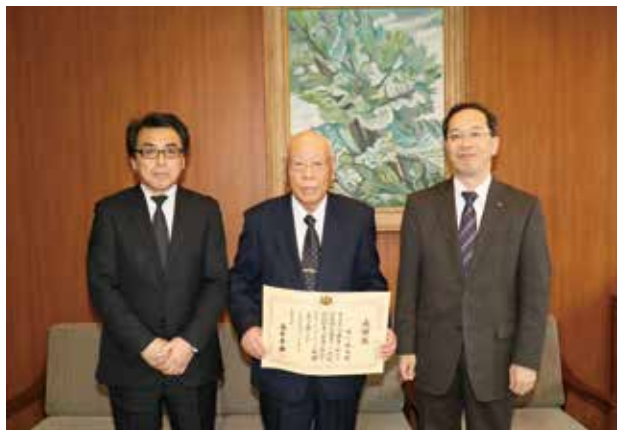
永 水川さん（河合町）が行政相談委員を退任 年の活躍に感謝状が贈呈

4月14日（金） 市長室

平成29年3月31日をもって行政相談委員を退任した河合町の水川政之さんに、岐阜行政評価事務所の宮田壽一所長から感謝状が贈呈されました。

水川さんは平成19年4月1日から10年間、行政相談委員として活動されました。この日は都竹市長も同席し、感謝状の贈呈に立ち会いました。

都竹市長は「市は区の制度がしっかりしており、行政相談が少ない傾向にある中で、水川さんには委員として本当にお世話になりました。長年の活躍本当にお疲れ様でした」と話しました。



感謝状を手にする水川さん（中央）